

日本睡眠学会 第 42 回定期学術集会

医療法人水明会佐潟荘 医局

平成 29 年 6 月 29 日、日本睡眠学会 第 42 回定期学術集会（会長：東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 伊藤 洋 先生、場所：パシフィコ横浜）に、学会正会員である院長の北村が参加しました。

シンポジウム「臨床 PSG 精度管理-システム構築の可能性-」では、まだまだ人の判断を必要とするポリソムノグラフィー（PSG）判読の信頼性と妥当性の問題、および今後の精度管理のあり方について、ランチョンセミナー「オレキシシン受容体拮抗薬スボレキサント」では、発売から 2 年半が経過した本薬剤の適正使用と好適症例について、招待講演ではスタンフォード大学の Clete A. Kushida 教授による最先端の試み「A Patient-Centered Coordinated Care Management Approach in Sleep Medicine」について、シンポジウム「パラソムニア」では、発達からみた睡眠という基礎的な内容から、パラソムニアと神経発達症の併存や、てんかんと鑑別や病態の異同といった臨床的な内容まで、幅広い議論が展開されました。